



えびすだより

～あんなこと!こんなこと!市のこと～

第28号

【市地区の世帯数・人口】
世帯数1,672・人口3,818人
(男1,818人・女2,000人)
R6.5末現在

発行日:令和6年6月吉日(年3回発行)
編集&発行:市地区地域づくり協議会
市三條880 市地区公民館内
電話:0799-42-5957・FAX:0799-42-5977
印刷:デザインチップス

～ 市地区公民館 新たな旅立ち ～

令和6年度 市地区地域づくり協議会会員 (順不同)



令和6年4月1日、市市民交流センター・市地区公民館は旧中央公民館に移転しました。

役職	所属団体等	氏名(敬称略)
会長	三條自治会長	福永 孝宏
副会長	老人クラブ連合会長	市川 富夫
〃	福永自治会長	仁里 克
監事	民生委員・児童委員代表	豊田 修
〃	青木自治会長	上田 龍司
委員	十一ヶ所自治会長	富永 泰史
〃	老人クラブ女性代表	堀川 千代子
〃	青少年健全育成会議代表	原田 宜彦
〃	消防団専任分団長	堀川 将芳
〃	商工会	坂井 敦子
〃	市小学校長	木場 大輔
〃	市小学校PTA会長	熊橋 歩
〃	市こども園長	森本 美代子
〃	市こども園保護者会長	岡田 桂樹
〃	保体委員長	堀 真也
〃	円行寺自治会長	紀本 博己
〃	小井自治会長	前川 博司
〃	善光寺自治会長	北前 宏明
〃	市自治会長	吉田 洋次
〃	徳長自治会長	黒田 宏
〃	新自治会長	高田 洋成
専門員	市議会議員	吉田 良子
〃	〃	原口 育大
〃	〃	熊田 司
〃	社会福祉協議会	奥本 洋志
〃	前市地区自治会長	原口 久司
〃	市地区自治会代表理事	高田 政浩
〃	跡地検討員	和田 昌治
事務局	市民交流センター長・公民館長	齋藤 伸子

開館を祝って、市こども園児の作品を展示しました。「明るくていいね」「素敵な絵やね」との声。今後は、正面の壁面を季節感あふれるみなさまの展示スペースにしていきたいと考えています。展示を希望される方、また展示を手伝ってくださるサポーターを大募集いたします。お気軽にお問い合わせください。なお、タマイチくんのタペストリーは、自治会長から寄贈いただきました。

万全の備えを!

～災害にも強い地域づくりを目指して～



5月10日(金)南あわじ市危機管理部危機管理課の方にお越しいただき、震災後の状況や実際に隣近所で協力し合い近隣の方を助け出している映像を見せていただきました。日頃からのつながり作りの大切さを実感する研修となりました。



【令和6年度 事業計画】

- 地域振興・情報発信**
広報紙「えびすだより」発行年3回
ふれあいタマイチくんまつり2024(10月)
- 環境美化・環境保全**
地区内の美化活動
- 安全・安心**
子どもの見守り活動、子ども110番連絡所
安全マップ配布(小学校入学児童へ)
- 子どもの健全育成**
あいさつ立ち番5月～来年3月
クリスマス子ども映画鑑賞会(12月)
- 文化・スポーツ振興**
市村小唄伝承事業「子ども教室」6月～令和7年3月
ふれあいスポーツ大会(11月)
- 保健福祉の増進**
敬老事業(9月)
子ども食堂～タマイチキッチン～(7月・8月)

あいさつ運動スタート 5月～令和7年3月まで



令和6年度「あいさつ運動」がスタートしました。市小学校PTA・各種団体のみなさま、今年度もよろしくお願いたします。

お世話になってます! vol. 8

〔青少年補導委員〕

南あわじ市青少年補導委員会は、地域住民の青少年問題に対する共通の理解を深め、地域における青少年問題関係機関・団体の相互の連絡調整を図りながら地域ぐるみで青少年の健全育成活動を総合的に推進していくことを目指して作られた組織で、中学校区ごとに設置されています。青少年補導委員は、次世代を担う青少年が地域で心豊かに成長できるよう、自治会からの推薦に基づき市長から委嘱を受けて活動しています。市地区では、4名の方が月に3回三原ブロック3班に分かれ夜の見守りパトロールなどを行っています。



【三原センターパークでの巡回活動】

目指せ!ホールインワン



4月23日(火)三原健康広場にて令和6年度第1回市地区老人クラブ
グラウンドゴルフ大会が行われました。結果は下記のとおりです。

【敬称略】

	男性個人			女性個人		
優勝	柳 有	青木		浅野 恵	青木	
準優勝	的場 哲也	三條		北山 久代	福永	
3位	山口 善章	市		山形 和子	青木	
4位	原 有	市		梶田 篤子	青木	
5位	登里 進	福永		竹中 しげ美	福永	
6位	榎本 清一郎	十一ヶ所		畠中 和子	市	

市小学校

子どもたちが安心して通えるように
(幼児期と児童期の円滑な接続推進研修会)

本年度市小学校は、34名の1年生をむかえ、全校生241名でスタートしました。この1年生が小学校生活にうまくなじめるよう、市小では昨年度より市こども園と協力して研究を進めてきました。子どもや教職員の交流、授業の内容や、時間割の工夫、授業づくりなどに取り組み、その成果を発表する研修会を5月15日に開催しました。淡路島内外から約180名の参加があり、「1年生が安心して過ごしている様子がわかった」「子どもたちがいきいきと課題に取り組んでいる」など高い評価をいただきました。入学して2か月、子どもたちは元気に学校生活を送っています。今後とも、保護者や地域の方々のご理解ご協力をいただきながら、こども園との連携を続け、1年生だけでなく全校生が安心して通える学校づくりに努めていきます。

(校長 木場 大輔)



市こども園

ご入園おめでとう



令和6年度、新たに24名の新入児を迎え新年度がスタートしました。今年度も入園式にタマイチくんが来てくれました。子どもたちも保護者の方もタマイチくんに釘づけ!! 昨年は少し恥ずかしそうで控えめだったタマイチくんも、今年は真ん中まで出てきて、元気をアピールしていました。市地区のイメージキャラクターですが、市こども園のイメージキャラクターのように、いろいろな所に登場してくれています。今度はいつ来てくれるかな?楽しみです。(園長 森本 美代子)



いち(市)枚の写真からvol.5

志知中島・新・三條にかけて広がる弥生～室町時代の遺跡。古墳時代中期には大型堀立柱建物や竪穴住居。周辺遺跡から祭器用石製品。また、てっつい(輸入された板状の鉄製品)や渡来した人が作った韓式系土器なども出土。当時の大和王権との関わりがあったことが分かってきたとされる。

(出典:市地区ふるさと散歩道マップ)

木戸原遺跡



【新地区】

～市村小唄～未来へ継げ～ 6月8日(土)開校式にて



子ども教室は、三原平野の中心として栄えた地域の歴史が唄われていた「市村小唄」の伝承活動に参加することで、故郷の良さを知り、郷土に誇りを感じ、郷土を愛する心を育てるために開催しています。毎年5月に小学校を通じて募集します。毎月1土曜日に「市村小唄」にあわせて、講師の榎本小代子先生・松本英子先生・三浦裕美先生に踊りを教えていただき、その後、版画・工作などお楽しみの時間を過ごしています。また南あわじ子ども伝統芸能発表会・三原文化芸能祭などにも出演しています。

ピカ いち(市)さん vol.9

【Q1】自己紹介します

豊田 公隆(とよた こうりゅう)です。1970年5月生 南あわじ市市三條出身。普段は、株式会社アクアヴェルデAWAJI代表取締役として、農業経営に従事。合間に、一般社団法人スマートな島暮らし推進協議会代表理事として、淡路島の地域資源を活用した利便性・快適性の向上に繋がる「何か」を生み出す為に活動。

【Q2】今までの活動、実績について

環境適応型農業に注目し、地球の気候変動、持続可能な農業とは何か?を考え、施設園芸と露地栽培のハイブリッド農業に着手。施設園芸は水資源を従来の施設園芸で使用する水の10%以下に抑え、廃液ゼロ化。化石燃料の低減に取組み、応用特許技術を活用し、栄養価の高いミニトマト栽培に着手。露地栽培については、三條地区農地保全活動の一環として、任意グループの三條環境整備隊を形成。そこから、農地保全だけではなく、スマート農業の在り方を推進し、人手、農機具のシェアリング。施肥設計の共有化など多岐に渡り活動。2022年4月～2023年3月の2年間、農林水産省のスマート農業実証プロジェクト、2022年4月～2024年3月の3年間、データ駆動型農業の実践・展開支援事業の採択を受け、多岐に渡り、環境適応型農業・次世代農業への実証実験を行う。今現在に到る。

【Q3】楽しいこと。夢は?

私が「何故、農業分野の会社を設立し、仕事にしたのか?」ですが、『三方よし』の理念が影響しています。自分達が生産・栽培管理した農産物を販売する過程で色々な方々と出会い、繋がりが出来る事は、気苦労もありますが、年齢の枠を超えて価値観共有が出来、継続した取引をして頂く事は、大きな喜びに変換されています。そして、その繋がりが会社経営の利益に反映されています。このように生かし生かされの循環が、私達が必要とする利益の担保になれば、どんなに素晴らしいことか!と考えています。持続可能な農業経営のカタチの構築。そして、次世代農業経営者の育成、承継をしていくことが使命・夢であり、人間が生きる為に必要とする食糧の確保に繋がると確信しています。

【Q4】市地区の皆さんへのメッセージ

農業分野は高齢化、後継者不足という問題も抱えていますが、令和6年度に「株式会社AWAJI環境整備隊」を55歳以下の農業者11名(内10名が市地区の若手農業者)の出資者と共に、新しく会社設立します。市地区を中心に、農地保全も含め、農業のあらゆる課題に対応できるサービスを提供するために活動して行きます。どうか今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

【編集後記】

中央公民館が市地区公民館に名称変更なる。すごいことで、うれしくありがたいことでもあります▼この3月まで、約50年長く広く皆さまに親しまれ共に歩んだ旧市地区公民館、今までお世話になりました▼今後は、私たち市地区住民のみならず、南あわじ市民の多くの方々には様々な形で活用される新市地区公民館。明るい未来を拓く、更なる前進を期待します。

令和6年度
研修・広報部会員紹介
原田 彦彦 紀本 博己
熊田 歩 北前 宏明
熊橋 司 岡田 桂樹
森本 美代子
今年度も読みやすい
地区だよりをめざします。

【順不同・敬称略】

よ

集いの場

当公民館では、毎月(12月を除く)第4金曜日午後2時から「集いの場」を開催しています。毎回内容を变えて楽しい時間を過ごしています。参加費は無料、参加年齢は問いません。お気軽にご参加下さい。今後の予定は右表の通りです。

※1月多肉植物寄せ植えは、材料の都合上申し込みが必要です。先着20名

7月26日	健康体操
8月30日	楽しく脳トレ笑いヨガ
9月27日	マッサージメイクアップ
10月25日	健康体操
11月22日	楽しく脳トレ笑いヨガ
1月24日	多肉植物寄せ植え
2月29日	人権ビデオ学習
3月21日	工作・手遊び